

ラトビア  
マドナ

## スキーオリエンテーリング

# マスターズ世界選手権 2006 参加記

大里真理子  
武石雄市

参加資格の年齢であれば誰でも参加できる。

それでも入賞者には I O F オリジナルのメダルを授与する世界選手権なのだ。

年々顔見知りが増え、言葉の壁を越えフレンドが増える。アスリートとの本能として記録に挑戦、人類の平和を願って国際親善、世界遺産の観光これもまた楽しい。

SKI WMOC 2006  
2006年2月1日(水)-6日(月)  
ラトビア マドナ

### マドナでセレブになる

(大里真理子)



マスターズ連続出場の大里真理子

マスターズで大事なことって何だろう？ 競技で成績を残すこと、自分が楽しむこと、そして国際親善。そう思って迎えた4回目のマスターズ。今回は国際親善の視点からマスターズをご報告する。

今年のスキーオリエンテーリングマスターズ世界選手権大会はラトビアのマドナで 2/1 から開催された。残念ながら今年の参加は武石さんと私の2人。ちょっと寂しい。いつも一緒の高原さんがいないから。私が高原さんの分ま

で頑張らなければ！何を頑張るのかというと、高原さんはいつも千代紙で鶴を折って、子供にあげているのだ。今年は私がその役だぞ！と成田空港で千代紙を買う。折鶴なんて折り方覚えていかなあっと心配したが、飛行機の中でせっせと折る。

さて、私たちの宿はマドナ地域のマルシエナ。宿のオーナーから「あなたたちは我が町始まって以来の日本人。明日、地元の学校にあなたたちを連れて歓迎するから、子供たちに日本のことを教えてほしい」と言われ、喜んでご招待を受けた。

「大変だ。何をしよう？」と武石さんと頭をひねる。1年生から9年生まで100人ほどだそうだが、折鶴を数羽渡してもねえ。。そこで、新聞紙で「かぶと」を子供たちに折らせることを思いついた。ところが、「かぶと」の折り方を思い出せない。苦戦すること小一時間、とうとう、武石さんが思い出してくれたのだ。やったー！

翌日、米国から来たシャロンと一緒に学校を訪問。子供たちは私たちのために、歌い、踊ってくれた。さて、それからが大変。私たちは子供たちと踊ることになる。そしておかしに歌を歌うはめにもなる。なぜか武石さんと私が選んだ歌は「こいのぼり」。なんと季節外れな！（ところで、武石さんって声に張りがあって、歌が上手なこと、知ってる？）



スター気分で子供たちと記念写真

それから、日本のありとあらゆることで質問攻めになる。日本の貨幣を見

せてほしいと言われ、武石さんは1万円札まで配ってしまう。なくならないか気が気でなかった(笑)「かぶと」の折り方を教え(鶴より簡単と思ったけど、子供たちは皆、苦戦)最後はサイン攻め。子供たちの名前を一人一人カタカナで書いてあげたので、大変だったけど、喜んでくれたかな。



教師全員と記念写真  
(日の丸を持っているのは校長先生)

翌日は地元の新聞社が取材に来て、地元新聞のトップページに写真入りで掲載されることに。(なんて書いてあるのかは全く不明)お陰で有名人になり、町行く人から写真撮影をねだられたり、サインを求められたり。人口の1割以上にサインをしたと思うけど。もっともサインは、ノートの切れ端、ガムの包み紙、腕など色々だけだね(笑)

少しでも日本のことを好きになってくれたらこれほど嬉しいことはない。

皆さん、どうです？来年は私たちと一緒に国際親善に行きませんか？

(大里真理子 W40)

\*編者 追記

SKI WMOC2007&WRE 場所と日程  
スウェーデン オサナ (Asarna)

2007年1月11-14日

1/11 モデルイベント

1/12 ロング1

1/13 ロング2 & WRE、バンケット

1/14 リレー

# Stars

Madonas rajona laikraksts  
Abonētuma maksa mēnesī Ls 1,70, pusgada Ls 8,50, gada Ls 16,00  
Nr. 14 (9200)  
**Ceturtdiena,**  
2006. gada 2. februāris  
Izāk otrdienā, ceturtdienā un sestdienā

Madonas valsts ģimnāzijas izspēle "Pasaļosīziju".  
4. lpp.

Pagastu ziņās - notikumi rajona pašvaldībās.

SIA „Kārums V” veikalos  
SIA "Triāls" piedāvā:  
Ahnu pastēti, 200 g — Ls 0,39

Veīmes jūsu — preces mīst!

## Madonā ieskanas vārds "pasaule"

### Stars vaicā jums

#### IVETA ŠMUGA

Madonā, Svētā Īsaakā, kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".

Madonā, Svētā Īsaakā, kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".



Madonā Svētā Īsaakā kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".

— Kad jūs domājat, vai 2. februāris pirms šī svētdiņas svinīgās svētdiņas — vai arī jābūt Madonā svētdiņas ir svinīga svētdiņa.

Madonā, Svētā Īsaakā, kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".

Madonā, Svētā Īsaakā, kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".

Madonā, Svētā Īsaakā, kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".

Madonā ar Madonā Svētā Īsaakā kopš 33. janvāra plūvo 17 valstu karogi. Jau tūlīt aicināsim akurētājus, kas atvēris Madonas svētdiņu, reģistrējās pilsētas orientēšanās, kas ir izveidota ar Pasaules kara izskaus E. puma savienības un puma savienības izveidoti. Svētdiņa ir svinīga svētdiņa, kas ir 1. līda 8. februāris notiek Madonā, svinīguma un laimības laidi "Sveiciens siltā" un "Viesuaki, spēka lauk "Mallie".

## 網にかかった魚？

(武石雄市)

航空機乗継が悪く、Madonā近くのホテルに到着したのは日本出国してから3日目の夕方。乗り継ぎの間を利用してコペンハーゲンでは人魚の像を見て、デンマーク王室衛兵の交代行進を追っかけ、世界遺産都市のりガ見物もした。

ロング第1レース、会場はホテルから30km西南のマイレス、近くにバイアスロン競技場があるようだ。

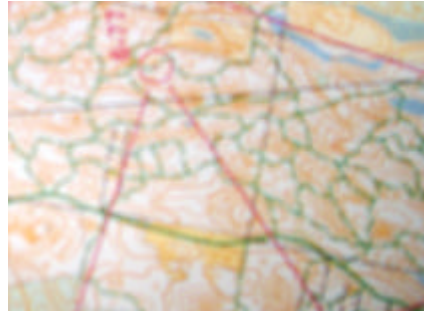
トレイン情報がワールドカップ参戦中の堀江君から入った。積雪が少なく森の中の草や倒木の上をスキーで滑る。トラックが判りにくく特に分岐は注意が必要。

ワールドカップのコースは急峻な尾根・谷越えのレグがありスキーを脱いだらしい。

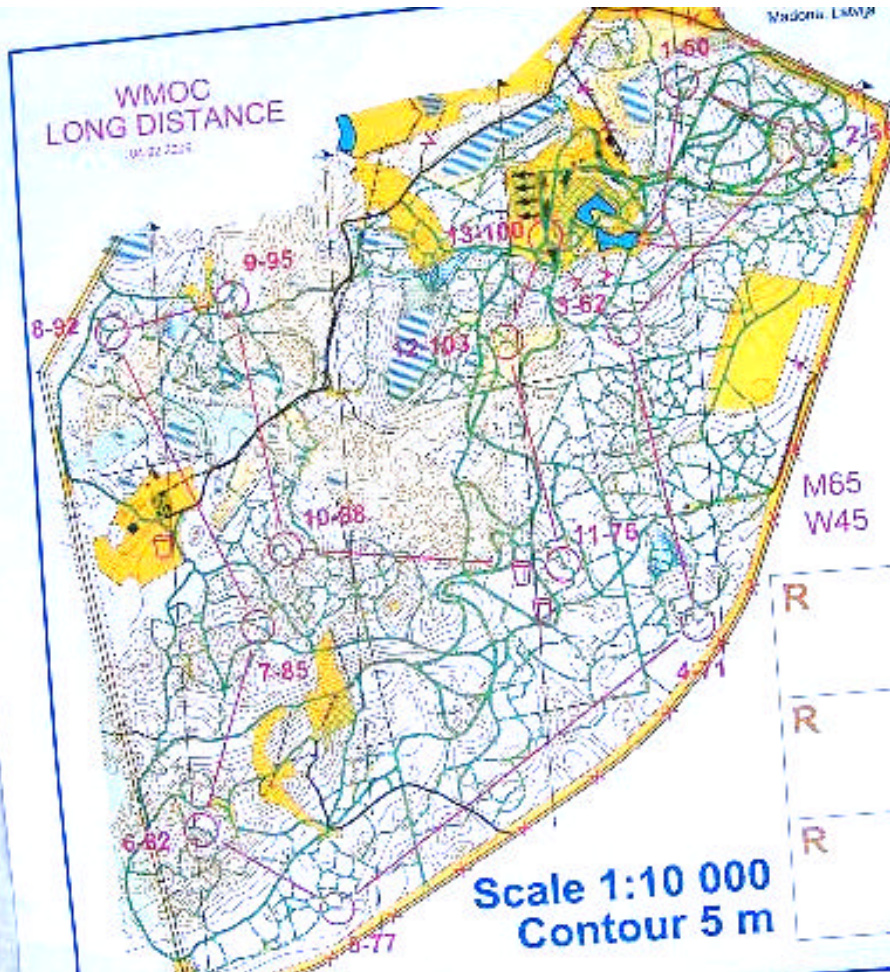
ウォーミングアップでワックスはバッチリの感触、M65 出場者はフィンランド勢を大半に 21 名。順位の目標は 2/1 付近、タイムを 120%に置き、来年の M70 クラスに繋がたい、と、気楽にスタートした。情報どおり - の途中 300mは急峻のためトラックの設置がなく迂回路も遠いため、足元の悪い尾根・谷を 3 本、スキーを脱いで降りたり登ったり、草で判りにくい分岐を何とか確認して をクリアー。

77には広いピステ道から夏道を回避して遠回りでも右に入るモービルトラックは 3 本目のやさしいルートを予定した。

ところがピステ道に出て何を勘違いしたのか最初の右トラックに飛び込んでしまった。分岐の確定が至難で同じように迷子になっているものが右往左往している。ここまではほぼ順調なラップを刻んでいたのが落ちてリロケットすればいいものを、彼らより少しでも早く離脱することが頭を掠めてうるうるする羽目となり、結局この網で約 50 分ももがいていた。



ピステ道と 77 付近のトラックネット



WMOC ロング第 2 レース M65/W45 のマップ

レース中メンタルを冷静に保持することは、言い易く行いが難しであることは言うまでもないが、百戦錬磨のベテラン？にあるまじき失敗であった。

地図を回収されているので当日の失敗分析はできなかったが、リロケートのため3回もピステ道から進入を繰り返した。ラップペーパーを見る限りのコントロールを設置していたトラックにだけ進入していなかったのだ。

悔しくてホテルに帰って遅いランチを食べても、おなががすいているのにさっぱり味を感じなかった。同様にレースを完走できなかった大里さんも悔しくてリベンジ、リベンジと繰り返している。

翌日はワールドカップや世界マスターズは休養日、同じテレインで一般のオープンレースがある。参加するのは事前申込が原則だが当日申込もあるかもしれない、大里さんもテレインに入りたいというのでフィンランドから自家用車で乗り込んでいた Heikki 夫妻の車に同乗をお願いし、不参加者のスタート枠をもらってレースすることができた。

スタートして地図に目をやる。幸い、77のコントロールも通ったが夏道のショートカットもあり、やはり分岐の確定は難解だった。

ホテルへの岐路、観光としゃれ込んで平坦なラトビアで1番高い山(312m)にあるスキー場に立ち寄り、レストランでビールを飲んで気晴らしした。



世話になったフィンランドの夫婦

## 凍傷とペナレース

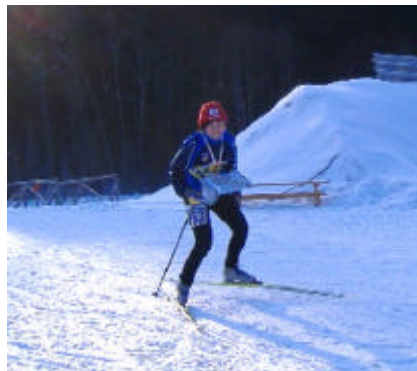
ロング第2レースの朝、日の出は8時だが一点の曇もなく快晴。

寒い！道路の凍りも異常を感じて気温を見る。-26。10:00まで-20以上に気温が上がらないとワールドカ

ップスプリントもスタートしないが、兎に角、この低温を予想してワックスを準備してきているし、先ずワックスングをする。

同室のペログラゾフ、クックセノーク(ロシア)もロシア製品だが低温ワックスを丁寧にブラッシングしている。

彼らはウラル地方の出身でペログラゾフは元ロシアチャンピオンだそうだ。リレーではチームを組んだので部屋では「ユウイチ！ユウイチ！」と親しく呼びかけてくるが、悲しいかなお互い自国語オンリーなので会話ができない。



- 20 でウォームアップ

会場に着いたらレースは予定通り開始されていた。

スタート時刻にあわせてウォーミングアップしている。皆寒さ対策をしている。顔の露出部分を少なくし、中にはやはりマスクをしているものもいる。

私もマスクは持参したが初めてなのでかけることをためらった。いつもEMITカードを巻いている指が冷たくなるので、タッチフリーユニットでもありストラップはゆるゆるとさせて、落とさないために安全ピンはダブルにした。

スタート！マップを見る。モービルネットは当然のように細かいし、驚いたことにピステ道割合も50%以上に見えてネット状になっている。慎重に滑らないとオーバーラン確実だ。スピードを控えたので、少しオーバーランしたが、返は自分なりに順調だった。

重大なミスに気がついたのは、翌日掲示板に成績が発表されてびっくり、なんとDNFなのである。私の地図も返却所がないしルートも確かめられない。本部に説明を求めたら、が不通過だと言う。自分ではそんなことはうそだ！といってもEMITの通過パ

ターンを見せられて愕然とした。

ルートをたどり冷静に考えると、通過ルート上にある給水所を通過した記憶がない！何としたことだ、寒さで頭も凍ったのだろうか？悔しいが認めざるを得ない。

ゴール後左手中指が痛い？感覚も変だ？初期の凍傷か？更衣所の粗末なストープでは回復しないのでホテルでたっぷりシャワーをかけるが感覚は戻らない。

ロシアの二人と組んだ翌日のリレーでも後半やさしいところでミスったので、自分の課題は後半の集中力と認識した。

リレーでは1走から2走への考えられないタッチミスで約30分のロスをして3走の自分は気軽に回ってきたら145クラスで3位になって賞品をもらった。走のペログラゾフがトップで来たのでタッチロスが惜しかった。



ハンケットで民族舞踊が披露された

かくもマスターズ2006は終わった、と同時に自分のM65も本年で終わりだ。来年は、今年の失敗を反省して改めてM70クラスで競技しよう。

もちろん、観光や国際親善も今まで同様に日本人としてプライドを失わないように尽くすつもりです。



バンドのリズムで衛兵さんとマーチ  
(武石雄市 M65)